

サンコール

サンコール(京都市右京区)は精密塑性加工技術を軸にエレクトロニクス分野で事業を展開する。本社内に建設したナノテクセンターでは微細精密加工技術などを磨き、製品開発を加速している。デジタル、エレクトロニクス、光を融合したエレクトロニクス分野で情報通信や光通信機器などの市場開拓に挑んでいる。

トプリンター用ローラー。海外第4拠点として昨年設立したベトナム工場が本格操業している。日立製作所と共同開発したICタグ用アンテナは形状設計から一環サポートできる。さまざまな形状のカスタマイズタケを開発している。

京セミ

京セミ(京都市伏見区)はセンサー用の受発光素子、光通信用の受発光素子、球状太陽電池「スフェラー」が3本柱。センサー用はETC

の球状で上下左右など全方向から光を吸収して発電する。昨年の「愛・地球博」で情報端末の電源に採用されて以来、引き合いが増えてきた。中国から数十万個規模の大型受注が決まったほか、大学の学内案内端末への採用やスペイン・ロボチカ社の商品化に向けた共同研究スタートと、実用化に向けた取り組みなどで本格普及も近い。

サムコ

サムコ(京都市伏見区)は新製品で市場攻勢

リジエントクルースコントロール(ICC)の車間距離センサーとして採用された。従来のミリ波レーダーを使ったICCと比べ、コストなどの面で装着率は高水準。今後も高性能と低価格化を進め、採用車種拡大を進めていく。

NKE

NKE(京都府長岡京市)はエア機器などハン

「ポッシュエプロセス」用にはエア機器などハン

の拡大を図る。同社のエッチングプロセスはロバート・ポッシュ(ドイツ)の独自技術。「800iPB」は「ポッシュエプロセス」用にプラズマを発生させるコイルを開発。内部構造も見直し、エッチング速度は毎分15分秒を実現した。将来の需要を見据え、87ウエハーにも対応する。

島津製作所

島津製作所(京都市中京区)は液島、半導体製造分野で使われるターボ分子ポンプ(TMP)を

世界シェアトップに育てる。国内と北米をメイン市場とするTMPは現在、需要に対して生産が追いつかない状態。同社は緊急措置として金属加工設備を増設し、対応を急いでいる。

TMPはタービンを高回転させ高真空状態を作り出す排気用ポンプ。北米では高速、大容量化ニーズが高まっている。タービンの形状が製品の排気効率を左右するが、独自の航空技術に応用した同社のTMPは高い性能をデバイスメーカーに提供している。

村田製作所

村田製作所(京都府長岡京市)は主力の積層セラミックコンデンサー、セラミック発信子、フィルターなどの汎用部品に加え、携帯電話に使用される表面波フィルター、ジャイロやショックセン

サーなどの用途特化型商品、「アルトウース」をはじめとする通信モジュールなど世界的にもトップシェアの商品群を持っている。

もともと技術開発力を強みにしているが、近年は米国・サイチップ(テキサス州)などの企業買収を通じた新技術、事業の獲得にも積極的で、売り上げ目標1兆円に向けてさらなる事業強化に取り組んでいる。

オムロン

オムロン(京都市下京区)はオートモティブエレクトロニクスコンポーネンツビジネス(AEC)というカーエレクトロニクスに特化した事業で、コントローラーやセンサー、リレーなどを提供している。前方を走行する車両との距離を測定し、衝突を防止するレーザレーダーはその代表

格だ。創業者の立石一真氏は「センシング技術でぶつからない車」と指し、91年には「遺言プロジェクター」として車間距離センサーのレーザレーダー開発が始まった。04年に日産自動車の高級車「フーガ」にインテ

リエンタープライズコントロール(ICC)の車間距離センサーとして採用された。従来のミリ波レーダーを使ったICCと比べ、コストなどの面で装着率は高水準。今後も高性能と低価格化を進め、採用車種拡大を進めていく。

竹中エンジン

竹中エンジン(京都市山科区)はセキユリター・情報機器が主力。住居など建物の安全をキープにしたセンサーなどラインアップ

は多いが、このほど商品化した屋外・屋内用人感センサー「PVW12T」、同12TAは音で安全性を高める。人体から発せられる熱を感じ、2種類の音声を状況に応じて切り替えて鳴動させる。例えば、セキユリター解除時は「いらっしやいませ」など来客対応を、セキユリター時は不法侵入者に對して威嚇、状況に応じて運用できる仕組みだ。メッセージは最大8秒間で自由に録音できる。

また、他のセンサーと接続することで、センサーだけでなく外部機器からメッセージを鳴動させた。遠隔地でセンサーが検知したことを知ることができる。

フジタカ

フジタカ(京都市長岡京市)はベルチエモジュール(冷却素子)を世界展開する。中国・秦皇島市にある生産拠点を06年内にも年産30万個から100万個に引き上げ、欧米への拡販を狙う。増産に向け、今月から同拠点で製品の研究、開発もスタートした。市場ニーズへの即応力を高めながら

回路製品、電力・機器用コンデンサーに力を注ぐ。アルミ電解コンデンサーでは小型化や高温対応、高機能化を進める。耐熱性を向上させるためアルミケース、封口材、電解液を改善し、260度Cピークのリフロー条件に対応した。

市)に新棟を増設、高水準が続く需要に応えるとともに、モノづくりのポートとしての基盤を固める考えだ。

日本EIC

日本EICサービス協会(JEISA、京都府久御山町)は4月1日に

業務をスタートした設備機器の保守・メンテナンス受託企業。各地の中小保守業者と結んだパートナー・ネットワークによって、サービスマネジメントを自力構築できない中小メーカーや輸入機械商社などの全国進出を支援する。

サービスマネジメントは計測器、制御機器、電装装置などが対象。機器トラブル発生時、契約先の顧客会員から連絡を受けてJEISA A事務局が最寄りのパートナーを選択。顧客会員のもとで対象機器の研修を受けた技術者をユーザーのもとへ派遣する。保守・メンテナンスの標準年間契約料は300万円。技術者の派遣費用は1回4万円。年間でメーカーが自前で技術者一人を抱える固定費と同程度の計算だ。

京セラ

京セラ(京都市伏見区)はコンデンサーや水晶振動子などの携帯電話部品向け電子部品が堅調

だ。コンデンサーは積層セラミックコンデンサー、タンタルコンデンサー、酸化ニオブコンデンサーなど多様なラインアップを持つ。積層セラミックコンデンサーは薄層化と高積層化を追求する。機器の小型化と高機能化につなげる。

水晶振動子は高純度で育成した人工水晶を切り出し、安定した振動周波数を実現した。また、小型低周波振動子「CX3225B」を開発。正方形を三つ並べた新しい振動モードを採用したこと、水晶の素子を薄くしても発振周波数を低く安定した状態にできる。機器のバッテリー消費抑制に貢献する低周波化と小型化を高立した。

RF

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

一方、FCは立ち上げ期間を短縮し、稼働を急ぐデバイスメーカーのニーズを満たした。処理能力、環境面の優位性も高く、トップメーカーの地位を不動にしている。

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

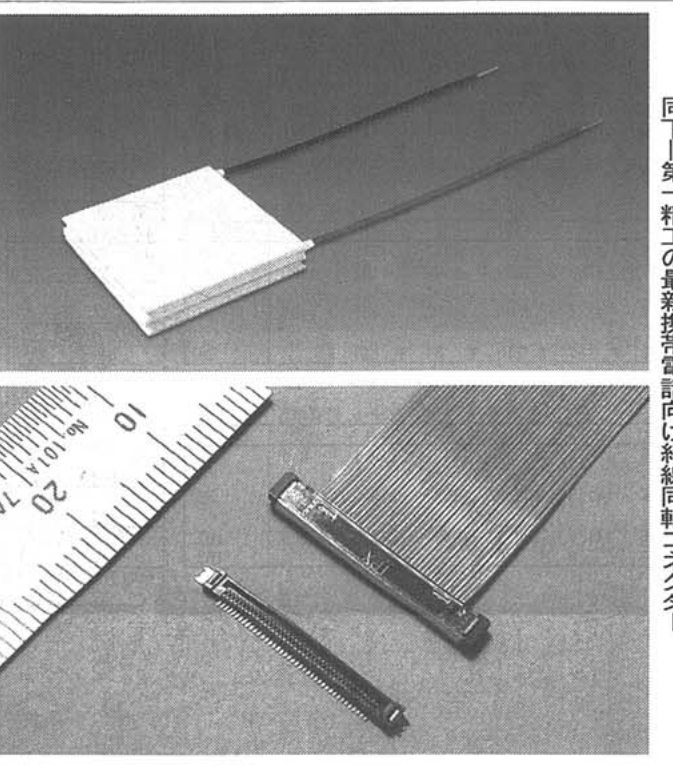
有力企業の最新情報(掲載順不同)

能頼質 機信品 高高高 3高

を極める

3高

エレクトロニクス京都



写真上:フジタカの最新のベルチエモジュール。同下:第1精工の最新携帯電話向け細線同軸コネクタ

大日本スクリーン製造(京都市上京区)は「洗浄」、「乾燥」技術を半

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。

RFはユニット構成を簡単に変えられる自由度の高さを需要を集めてきた。同社は塗布現像装置分野で300i、87ウエハーへの対応が遅れ、01年にシェア10%を切った。しかし、RF投入によって05年には15%を回復。現行の「RFキューブアイ」も好調が続く。